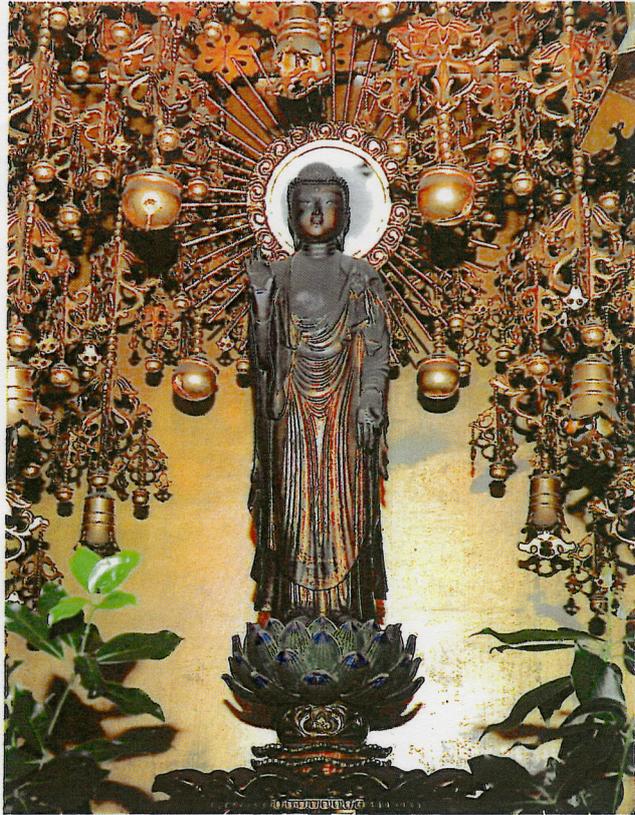


ありふれた 有無

第四号



阿弥陀如来

1652年に源通寺が開基されてから代々受け継がれてきた阿弥陀如来像（あみだにょらいどう）。
様々な時代を、多くの人を見守り続けています。
今年で362歳になりました。

真宗大谷派
源通寺

2014年、新たな年を迎えました。

皆様はどのような人とお正月を過ごされたでしょうか？

今年は大型連休だったこともあり、実家に帰省して家族や親戚とノンビリされた方も多いのではないのでしょうか。

親戚同士で集まってお酒を呑みながら懐かしい話に花を咲かせてゴロゴロする。(勝手な想像ですが...)

普段はなかなか集まることのできない身内が集結する。

このなんでもない正月太り後悔ライフが、実はすごく大切なことなんだろうなと思います。

正月という行事には、核家族が当たり前となっている現代に「チーム(家族)力を見つめ直す」という大きなはたらきがあるのではないのでしょうか？

葬儀のスタイルが多様化している現代、葬儀を行う意味とはなんだろうと考えると、

「死」に触れ、「死」を正面から見つめ、「死」を実感する場所なんだと改めて感じます。

自分の家族・両親・祖父母・兄妹・親戚・そして自分。

「死合わせ」から感じる、いつ・どこで・どんな死を迎えるか分からないという思いが、

ひとときのノンビリした時間をより「幸せな」時間へと変えてくれるのかもしれないな、と思いました。

(うまい!と思えたあなた! ありがとうございますナンマンダグツ)

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

副住職・釋祐翔

「道徳はいくつになるぞ。道徳、念仏申さるべし」

これは明和2年の元旦、道徳(どうとく)という蓮如上人のお弟子さんが上人に新年の挨拶に来た時に、上人から掛けられた言葉と伝えられています。

(「蓮如上人御一代記聞書」「真宗聖典 854頁」より)

昔は年齢を数え年が数えていたので元旦は皆が「つづつ年をとる」という日でもありました。そこで蓮如上人は道徳に、あなたはこれで何歳になったか尋ねて、次に「念仏申さるべし」と自らの念仏と他者の念仏の違いを改めて道徳に説いたということです。

今年はどんなことがあるだろう、と期待に胸をふくらませるお正月。

蓮如上人の言葉は、何を拠り所として生きるのかを呼びかけています。

それがほっきりしない限り、1年はまたもや空しく過ぎることになるのではないのでしょうか。

年間行事 2014

しゅうしやうえ

1月 修正会



阿彌陀様は「鏡」に譬えられます。
その阿彌陀様を前に自分自身の「心」の
身だしなみを整え、皆さまと新たな仏縁の
一歩を踏み出せればと思います。

<日時: 1月1日(水)>

◆新年会◆

お招きした講師によるご法話、またジャズ
演奏を聴きながらの縁会(宴会)。

講師: 高橋 哲量 様

<日時: 1月19日(日)>

はるびがんえ

3月 春彼岸会



春に開かれるお彼岸法要です。

<日時: 3月16日(日)>

えいたいせうほうよう

5月 永代経法要

「永代経」とは、そのような名前のお経
があるわけではなく、永代に渡り
お経が読まれ、子や孫も仏の教えを
聞き、心の拠り所となる場所を
再確認することです。

講師: 糸谷 亮太 様 (医師)

<日時: 5月22日(木)>

どうぼう

「同朋の会」～仏教を語らう会～

人と語り合う中で学び、気が付いていく。

生活に寄り添った仏教を皆さまと共に歩んでいきたいと思っています。

参加自由ですので、気になる方は是非ご参加ください。

<日時: 偶数月
第4土曜日>

うらばんえ

7月 盂蘭盆会

一般で言われる「お盆」のことです。

<日時: 7月13日(日)>

あきびがんえ

9月 秋彼岸会



秋に開かれるお彼岸法要です。

<日時: 9月15日(月)>

ほうおんこうほうよう

11月 報恩講法要

(親鸞聖人のご命日の集い)

一年で最も重い法要です。

親鸞聖人のご命日(11月28日)を
中心として、その前後に全国の真宗
寺院で行われます。

源通寺の報恩講

<日時: 11月2日(日)>

おくねんかい

12月 ◆憶年会(忘年会)◆

一年を振り返り、自分自身を見つめ
直す会。

<日時: 12月28日(日)>

どの行事も皆が集い、
法話を聞き、お齋(おとぎ)を
いただきます。

聞法友達が出来るとかも?!

お知らせ



Ryouta Hosoya

細谷 亮太

2014年5月22日(木)

源通寺の永代経法要が勤まりませう。

今年は講師に、聖路加国際病院

小児総合医療センター長であります

細谷亮太氏をお迎えします。

長年多くの子供達の命を見つめ続けて

また小児科医が思う「いのち」とは

どのようなことなのでしょう。

※ 出欠に関しましては、後日ご案内を出させて
いただきます。

<プロフィール> 1948年山形県生まれ。東北大学医学部卒業後、
聖路加国際病院小児科に勤務。現在、同病院小児総合医療センター長。
著書に「医者が泣くということ 小児がん専門医のいのちをめぐる日記」
(角川書店)、「小児病棟の四季」(岩波書店)など多数。俳人としても活躍。

タイトル『^{ウム}ウム有無』とは… むづかしい仏教のことや仏教用語を「ウムウム」と
含んでいただけるといえるようにまとめた冊子です。

仏教用語 有無(うむ) — 存在すること、しないこと。
また 形あるものとないもの。
(有形、無形)

発行日：平成26年1月1日

制作：副住職 釋祐翔

准坊守 小笠原 沙織

題字：15代住職 釋祐純

浄土真宗 大谷派寺院 源通寺

住所：〒164-0002

東京都中野区上高田1-2-7

TEL：03-3371-8817

FAX：03-3371-8815

URL：gentsuji.or.jp

E-mail：contact@gentsuji.or.jp

当寺に関する事、法要に関する事など、気になることが
ございましたら、お気軽にご相談ください。